

2023.04.25



兵庫県立三田祥雲館高等学校 21 回生年次通信 第18号

21 回生2年次始動!

4月10日(月)晴天の下、第22回入学式が挙行され、新入生240名が入学し、今年度は3年次合わせて 661 名のスタートとなりました。3年前からコロナ禍で様々な制約がある学校生活でしたが、5月から新型コロナウイルスも5類に移行することになり少しずつ従来の学校生活に戻りつつあり、顔の見える関係性が育まれることをうれしく感じています。

入学して早1年。この4月は大講義棟前の花壇に咲くビオラやパンジーに目を留めた生徒も多かったでしょう。彼らは、小さな苗、一株から一枚一枚の花を咲かせ、寒い冬を耐えしのぎ、春にようやく開花し、我々の目に留まる花となりました。今年度は、部活動や行事で、学校の中堅学年として、学校全体を動かす核となり活動するとともに、9月には修学旅行が控えています。皆さん、結集、団結し、この1年間、根を張り、寒さに耐え、花を咲かせる準備をしてください。私たち、教師一同、君たちに期待しています!



SS 探究Ⅱがスタート

4月14日(金)SS 探究Ⅱが始まりました。5時間目に大講義棟で全体ガイダンスを受講し、6時間目は各コースに分かれ、担当者から年間計画の説明を受け、各自のテーマを個人、グループで計画を立てていきました。3月末の中間発表に向けて、まずは視野を広げ、興味のタネをまきながら、Insight(洞察力)を鍛えていきましょう。



5月12日(金)育友会総会&年次保護者会開催

5月12日(金)育友会総会後の年次保護者会にて修学旅行の説明とコース別探究プランのプレゼンをさせていた

6月開催の祥雲祭に向けて

学校行事最大の楽しみである祥雲祭が6月16(金)・17(土)に開催されます。今年のテーマは「Show must go on」です。2年次は展示発表を行います。今年度は物品販売も3クラスまで可能になりました。生徒たちは、各クラスで協

力しながら、話し合いを重ねている途中です。土曜日は家族に限り限定公開の予定(変更の可能性もございます)です。今年は、何が飛び出すのでしょうか?生徒たちの工夫を凝らした展示発表をぜひ楽しみにしておいてください。

面談週間

クラスごとに担任との面談が始まり、生徒たちは、今年の抱負や勉強方法などを先生と熱く相談しています。



5月の予定

1日(月)	全校集会
9日(火)	尿検査
10日(水)	//
12日(金)	育友会総会
13日(土)	プログレス探究B
15日(月)	保健安全講話(運動部員)
20日(土)	学習マラソン
22日(月)~25日(木)	前期中間考査
25日(木)	オーストラリア事前研修①・保護者説...
31日(水)	オーストラリア事前研修②

考査前には学習マラソンもありますので奮って参加しましょう!



保護者の皆様へ

昨年から本校へのご理解、ご協力を賜り誠にありがとうございます。始まったばかりということもあり、1時間1時間の授業に対して、集中し、課題にもほとんどの生徒が積極的に取り組んでおります。今年の英単語の小テストでも合格者が9割を超えるときもあり、全員が「小テストは合格するもの」ととらえていることがうかがえました。少しずつの積み重ねからお子様を励ましてやってください。今年度も生徒たちを全面的にサポートしていきますのでどうぞよろしくお願いいたします。

Tea Break①



今年は、21 回生年次の先生+αの先生紹介も入れながら、年次通信を発行していきます。

今月のテーマ:「小学校時代の夢」

植田先生:「弱い人を助ける正義のヒーロー」

丸田先生:「パン屋、ケーキ屋、チョコレート屋さん」

宮浦先生:「サッカー選手・野球選手」

玉眞先生:「バケツサイズの抹茶アイスを一人で食べる」

山本先生:「漁師」

増本先生:「多くの人に役立つ人」

土井先生:「先生」

新田先生:「たくさんの動物と暮らす」

Thalia 先生:「a children's doctor」

Brandon 先生:「an author」

次号もお楽しみに!
(裏面に続く)

Tea Break②

先日の WBC の日本選手の活躍は、非常に素晴らしく日本に感動の嵐を巻き起こしてくれました。さて、超人的パワーの持ち主、大谷翔平選手が、決勝アメリカ戦との試合前に言った名言を覚えていますか？

「僕らは今日、(米国を)超えるために、やっぱトップになるために来たので。今日1日だけは彼らへの憧れを捨てて、勝つことだけ考えていきましょう。さあ行こう！」

筆者の大好きな言葉です！日々の努力が実を結ぶということを、彼は教えてくれているように思います。さて、この訳を英語にしてみましょう！Put into English!

(If you can do it, please bring it to Ms. Maruta or Mr. Yamamoto. We're looking forward to checking your hard work.)



～祥雲生の1日～



小テストに向けてスキマ時間を利用中

～離任式(板倉先生)～



1年間ありがとうございました！